05 PROJECT FILE

学校の環境教育支援プロジェクト

Japan

日本各地のNGOとともに、教育の現場、「学校」での環境教育を支援しています。

今、車を運転する世代、「エコ」会員の皆さまが子どもだった頃に比べて、教育の現場である学校では「環境教育」が進んでいます。学校で行う環境教育のお手伝いをし、子どもたちの中に自然を大切に思う心を育むこと、それがこのプロジェクトの目的です。自然体験プログラムなどのノウハウを持つ日本各地のNGOと、ノウハウや機会を探している学校とのマッチングを行い、互いの長所を生かして、より効果的な環境教育プログラムを実施できるよう、パートナーである日本環境教育フォーラムとともに取り組んでいます。

学校	NGO	テーマ
川崎市立桜本小学校 6年生（神奈川県）	NPO法人APSD	棚田から農業/食糧/途上国問題を考える
札幌市立福住小学校 6年生（北海道）	NPO法人ねおす	自分達が生活する地域の豊かな自然を知る
浦添市立宮城小学校 4年生（沖縄県）	エコライフ	沖縄の自然に五感で触れ、感性を培う
東員町城山小学校 6年生（三重県）	大杉谷自然学校	海を題材に、日常生活でできる環境問題の解決策を考える

2004年度の活動

04年度は、4つの地域の4つの学校でプログラムを行いました。また、それぞれの経験を発表し、共有するためのWEBサイトも立ち上げました。

今後の活動

「環境教育」という言葉自体、幅広い意味を持ち、捉え方も人によって様々です。
初年度であったこともあり、進めていく中で、プログラムの内容や進め方、学校とNGOの役割の担い方など、様々な意見が集まりました。
05年度は貴重な意見を生かして、プログラムの改善を図りながら、6つのプログラムを7つの学校で展開して行く予定です。

WEBサイト「EEキッズ」

体験学習が中心となるプログラムは一過性のものになってしまう可能性もあり、子どもたちの中に芽生えた環境に対する関心が続かないのでは、という問題意識から、体験を発表しあったり、子どもたちとNGOが交流したり、学校をこえて子どもたちが情報の共有を図れるWEBサイト、「EEキッズ」を立ち上げました。
このサイトを利用する学校やNGOを増やし、また、学校の授業の中でも使っていける「環境教育ツール」に育てていきたいと思います。サイトは環境gooの協力を得て、環境関連では最も有名な情報サイト、「環境goo」のなかに置きました。使う人が気軽に使えるよう、「エコ」基金色を出さないデザインになっていますが、よく見ると1ページ目にこっそりロゴマークが入っていますので、ぜひ一度サイトを覗いてみてください。

URL http://eco.goo.ne.jp/education/eekids/

内容
工業地帯に隣接する地域の子どもたちが、長野県三水村の協力のもと、棚田での田植え、草刈り、稲刈りなどの実地体験と、学校での経験（授業、学校での水田作り、文化祭での発表など）を通して、1年間、環境/農業/食糧問題から、地球規模の途上国問題に至るまで、しっかりと環境に向き合いました。
札幌は森が広がり野生生物が生息する「自然」と、180万人が生活する「都市」が接する町ですが、子どもたちが自然に接したり、環境を意識したりする機会が減っていると、最近指摘されています。8月に地元の自然の中でウォークラリーや沢探検、自然観察を行い、子どもたちが身の回りの自然に「気づく」きっかけ作りになりました。
昔ながらの稲刈りや脱穀、里野の自然観察、海の観察、星空観察、やんばるの多様な生態系の学習など、様々な自然に五感で触れる、体験中心のプログラムを11月に行いました。
当初、「山」を題材にプログラム作りを進めていましたが、台風の影響による土砂崩れなどで、急遽、テーマを「海」に替え、2月に行いました。 学校での学習や発表と、伊勢志摩に近い海での自然体験を通して、生態系や環境ホルモンなどの問題を、漂着物などの身近な素材から考えました。